

平成29年3月
素形材産業室
室長 蘆田 和也

「素形材産業を含めた製造基盤技術の「稼ぐ力」研究会」
取りまとめにあたり

本研究会は、経済産業省委託事業「平成28年度製造基盤技術実態等調査（素形材産業の「稼ぐ力」の向上に係る調査分析）」の一環として、実施いたしました。

研究会では、結論の一致を得ることは想定しない、気づき・検討のきっかけ提供や複数仮説のあぶりだしに主眼を置くため、企業のベストプラクティス・先行的事例の収集を行いました。特に、研究会では毎回、先進事例企業にプレゼンターとして登壇いただき、先進事例の紹介をしていただくとともに、委員とのディスカッションを行いました。いずれの内容もパワフルかつ挑戦的で、刺激的なものばかりでした。

そこで当室では、「経営者が何を考えているのか」をありのまま編纂した報告書が必要と思いました。つまり、これら先進事例を通じて得られるヒントに関して、纏めるのは我々行政ではなく、皆様自身であると考え、なるべく皆様の「眼鏡」でこれら事例を見て、考えていただくため、事例をベースとした報告書に纏めました。

また、素形材産業の稼ぐ力の向上に向け、合わせて委員の方から忌憚のない提言も頂きました。いずれも示唆に富む見解ばかりであり、報告書と合わせて掲載させて頂きます。

最後に、プレゼンターとしてご登壇いただいた方々、ヒアリング調査にご協力いただいた方々、そして研究会において活発に議論頂いた委員の皆様全てに厚く御礼申し上げます。